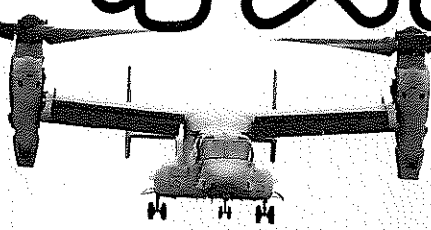


許せない!! 東京への オスプレイ 配備

▶横田基地に飛来したオスプレイ(昨年7月19日)



日本共産党の宮本徹議員(衆院東京比例ブロック選出)は5月25日、衆院の決算行政監視委員会で、垂直離着陸機CV22オスプレイの危険性について政府の認識をただし、米軍横田基地への配備強行は許されないと迫りました(下写真)。

共産党・宮本衆院議員が追及

危険な訓練域は首都圏全体に



自治体との約束違反

宮本氏は、自衛隊の航空総隊司令部が横田基地に移転(2012年)される際、福生市と防衛省との間で「これ以上の基地機能の強化はしない」との「約束」があったことを示し、「市長との約束を破るのは信義則にもとるものだ」と追及しました。中谷防衛大臣は「(約束があったとの)報告は受けている」と認めながらも、「地元に対し説明して、理解を求めていく」としか答弁できませんでした。



沖縄・普天間基地と同じ住宅密集地の横田基地なぜ配備する

米ハワイでのオスプレイ墜落事故を受け、横田基地の訓練地域(左地図参照)にあたる住民をはじめ不安が高まっています。宮本氏は、オスプレイがすでに配備されている普天間基地について「除去すべき普天間の危険性とは何か」とただしたのに対し、中谷大臣は「市街地のまん中にある」と答弁。宮本氏は、「普天間の『危険性の除去』というなら、同じく住宅密集地にある横田基地の危険性も除去すべきだ」と迫り、オスプレイの東京配備の道理のなさを浮きぼりにしました。

「戦争する国」づくりねらう安倍暴走ストップ!!

オスプレイは、すでに沖縄に24機配備され、全国に飛来しています。そして新たに横田への配備の他に、日本政府は自衛隊用にアメリカからオスプレイを購入する計画さえもっています。現24機の即時運用停止、新たな配備計画の中止へ、力をあわせましょう。



ご意見・ご要望は 03-3370-0311、FAX 03-3370-0471
2015年5・6月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党